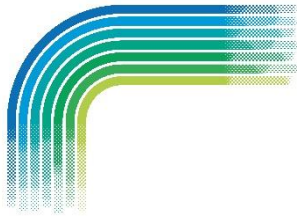


**大樹町立国民健康保険病院
経営強化プラン
(点検・評価)**

2025.9



第5章

「数値目標」の設定

経営の効率化を進めるにあたり、計画期間における収支計画と主な経営指標の目標を次のとおりとし、この目標の達成に向けた具体的な取り組みを設定します。

なお、収支計画及び経営指標の目標値設定にあたってはコストダウンのみによって採算ラインに到達させることは困難であることから、コストダウンを図りつつ増収に係る取り組みも実施します。

1 医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標

(1) 医療機能に係るもの

町内唯一の救急告示病院としての救急医療提供体制を確保します。

	令和4年度 (2022) (実績)	令和5年度 (2023) (見込み) (実績)	令和6年度 (2024) (目標) (実績)	令和7年度 (2025) (目標) (実績)	令和8年度 (2026) (目標) (実績)	令和9年度 (2027) (目標) (実績)
救急患者対応件数(件)	103	120 109	120 114	120	120	120

(2) 連携強化等に係るもの

専門的な、また高度な治療の必要がある場合は専門診療科を有する病院へ紹介を行い、初期治療や慢性期、回復期の患者を大樹町立病院で診療できるよう公的病院や民間病院との連携を図ります。

	令和4年度 (2022) (実績)	令和5年度 (2023) (見込み) (実績)	令和6年度 (2024) (目標) (実績)	令和7年度 (2025) (目標) (実績)	令和8年度 (2026) (目標) (実績)	令和9年度 (2027) (目標) (実績)
逆紹介件数(件)	496	500 468	500 407	500	500	500

2 経営指標に係る数値目標

(1) 収支改善に係るもの

経常収支比率は、一般会計負担の考えや経営努力による黒字化を目標とします。

また、救急医療やへき地医療などの不採算部門を継続させながら、修正医業収支比率を上昇させます。

	令和4年度 (2022) (実績)	令和5年度 (2023) (見込み) (実績)	令和6年度 (2024) (目標) (実績)	令和7年度 (2025) (目標) (実績)	令和8年度 (2026) (目標) (実績)	令和9年度 (2027) (目標) (実績)
経常収支比率 (%)	95.0	98.0 95.7	99.0 97.3	100.0	101.0	102.0
修正医業収支比率 (%)	46.5	50.8 48.0	53.9 49.3	55.1	56.2	57.5

(2) 収支確保に係るもの

専門的な治療を終えた後、在宅へ移行するまでの入院患者の受入を行い、慢性期へ移行後は外来通院することで、入院患者と外来患者の増加を目指します。

	令和4年度 (2022) (実績)	令和5年度 (2023) (見込み) (実績)	令和6年度 (2024) (目標) (実績)	令和7年度 (2025) (目標) (実績)	令和8年度 (2026) (目標) (実績)	令和9年度 (2027) (目標) (実績)
入院患者延べ数 (人)	13,683	16,470 16,162	16,425 14,566	16,425	16,425	16,470
病床利用率 (%)	75.0	90.0 88.3	90.0 79.8	90.0	90.0	90.0
外来患者延べ数 (人)	24,830	26,730 26,622	30,375 25,662	30,250	30,125	30,375

(3) 経費節減に係るもの

厚生労働省による平成30(2018)年度病院経営管理指標によると、自治体病院の医薬品比率は12.2%となっており、経費の節減に努めていきます。

	令和4年度 (2022) (実績)	令和5年度 (2023) (見込み) (実績)	令和6年度 (2024) (目標) (実績)	令和7年度 (2025) (目標) (実績)	令和8年度 (2026) (目標) (実績)	令和9年度 (2027) (目標) (実績)
薬品費 (%)	12.4	12.4 11.7	11.4 10.8	11.2	11.0	10.7
医療消耗品 (%)	6.6	6.2 6.8	6.5 6.3	6.4	6.2	6.1

(4) 経営の安定性に係るもの

医療法や診療報酬の収入に係るため、現在の医師・看護師・その他医療職の人数を確保します。

	令和4年度 (2022) (実績)	令和5年度 (2023) (見込み) (実績)	令和6年度 (2024) (目標) (実績)	令和7年度 (2025) (目標) (実績)	令和8年度 (2026) (目標) (実績)	令和9年度 (2027) (目標) (実績)
医師 (人)	5	4 5	4 4	4	4	4
医療技術員 (人)	13	13 13	13 13	13	13	13
看護師 (人)	27	27 23	27 23	27	27	27
事務員 (人)	4	4 4	4 4	4	4	4
給食調理員 (人)	3	3 3	3 3	3	3	3
介護補助員 (人)	16	16 16	16 16	16	16	16
医療事務員 (人)	5	5 3	5 3	5	5	5
医療技術補助員 (人)	1	1 1	1 1	1	1	1
再任用職員 (人)	1	1 1	2 2	1	1	1
会計年度任用職員 (人)	2	2 2	1 3	1	1	1

3 目標達成のための具体的な取り組み

<具体的行動計画>

①地域医療の充実に向けた役割の強化

地域医療連携と初期医療、安定期の受入の充実を図り、町内唯一の公立病院としての機能を強化します。

取り組み事項	取り組み内容				
地域医療連携の充実	二次医療圏・三次医療圏の拠点病院などと連携による紹介・逆紹介の推進のほか、地域の医療機関等との連携強化により、『かかりつけ医』患者の病状に応じた地域完結型医療の確立を目指します。				
	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)	R9年度 (2027)
					
地域包括ケアシステムへの取り組み	二次医療圏、三次医療圏の医療機関等との連携を図りながら、地域包括ケアシステムの構築に取り組みます。				
	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)	R9年度 (2027)
					
救急体制の充実	町内唯一の救急告示病院として、救急患者の受入れを行い、町内の医療体制の充実に努めます。				
	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)	R9年度 (2027)
					
診療機能の強化	地域のニーズを踏まえた専門医療を提供するため、帯広市の医療機関をはじめとする基幹病院への医師派遣を要請します。				
	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)	R9年度 (2027)
					

取り組み事項	取り組み内容				
地域医療構想を見据えた病床再編	北海道地域医療構想や、十勝地区の病床機能分化の動向を見極め、初期治療に限らず安定期の患者の受入れを行うなど、将来の地域医療需要に適切に対応します。				
	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)	R9年度 (2027)
介護・保健・福祉機関との連携強化	退院患者の在宅医療・生活支援に関する体制を構築するため、町内を中心とした介護・保健、福祉機関との連携を強化します。				
	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)	R9年度 (2027)


②安全で安心できる医療の推進

説明と同意の元に患者が安心して良質な医療を受けられる体制や環境の充実を図ります。

取り組み事項	取り組み内容				
災害に対する機能強化	災害時の医療拠点としての機能が求められる自治体病院として、災害を想定した訓練や職員研修などを定期的実施し、災害時に対する機能強化を図ります。				
	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)	R9年度 (2027)
医療安全・感染対策の充実	院内外での研修や講習会に参加し、医療安全や感染対策に関する職員の意識向上や人材の育成を推進するとともに、新興感染症への平時からの対策を行い、医療安全・感染対策の充実を図ります。				
	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)	R9年度 (2027)
設備の改良・充実	療養、診療環境の快適性や安全性の向上を図るため、優先度や年度負担の平準化などに十分配慮しながら、設備の改良・充実に努めます。				
	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)	R9年度 (2027)





③医療・看護の質の向上の推進



病院職員は常に研鑽して知識と技術の習得に励み、地域医療に貢献します。

取り組み事項	取り組み内容				
医師・看護師など医療スタッフの確保	ホームページや各人材紹介システムの利用、各種メディアの活用など、医療スタッフ採用に向けた様々な活動に取り組みます。				
	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)	R9年度 (2027)
					

④効率的な病院運営の推進


経営の改善・強化に向けた取り組みにより、健全で安定した経営基盤の確立を図り、将来を見据えた効率的な病院運営に努めます。

取り組み事項	取り組み内容				
適正な診療報酬の確保	診療報酬に係る各種情報の収集や職員研修の実施、返戻・査定減の縮減を図るための検討・分析などを通じて、適正な診療報酬の確保に努めます。				
	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)	R9年度 (2027)
					
病床の効率的な運用	北海道地域医療構想を勘案し、必要に応じて病床機能の転換や病床数の見直しを実施します。				
	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)	R9年度 (2027)
					
医薬品・診療材料の購入・管理体制の強化	価格交渉の強化、発注方法の見直し、類似品の整理、ジェネリック医薬品の使用拡大などにより、医薬品、診療材料費の削減を図るとともに、管理体制の運用強化に努めます。				
	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)	R9年度 (2027)
					
医療機器の計画的な導入	医療機器の購入経費とその収益性を考慮しながら、計画的な導入を図るとともに、取得方法や財源等について検討を行い、購入経費の縮減に努めます。				
	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)	R9年度 (2027)
					

取り組み事項	取り組み内容				
医療情報システムの更新	医療情報システムや地域連携ネットワークシステムの更新などを計画的に進め、業務効率の維持、向上を図ります。				
	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)	R9年度 (2027)
					
施設・設備の計画的な修繕	コストや耐用年数等を考慮し、年度負担の平準化や軽減に努め、適正かつ計画的な修繕を実施します。				
	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)	R9年度 (2027)
					

⑤医療従事者の勤務環境等の充実

医療従事者の勤務環境等の充実に努め、医療提供体制の確保を図ります。

取り組み事項	取り組み内容				
勤務環境の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・有給休暇取得率の向上や時間外勤務の縮減に取り組むとともに、職員の定着に努めます。 ・医師の勤務負担軽減として、タスク・シェアリングやタスク・シフティングなどを行い勤務負担軽減に努めます。 				
	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)	R9年度 (2027)
					
医師の働き方改革	宿日直許可による体制を維持し、働き方改革に準じた勤務の維持に努めます。				
	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)	R9年度 (2027)
	